

希望もてる政治を練馬・東京から

日本共産党 都議会議員 とや英津子

2020年の新しい年が明けました。

昨年は、私立高校生の授業料無償化の対象拡大実現や都立美術館等の若者の入館料の引き下げを前進させることができ、とても充実した一年でした。

小池都政は築地市場の解体、カジノや羽田空港の機能強化、大型道路にはためらうことなく税金を使う一方で、水道料金の値上げや国保料軽減を拒否するなど都民無視が鮮明になっています。

今年は都知事選挙です。都民の暮らしや子育てに光があたる、希望もてる都政をご一緒につくりましょう。



練馬区に20年度予算要望書を提出

11月22日、共産党練馬区議団とともに、区民の暮らし・福祉、子育て・教育など切実な区民要望を255項目にまとめた2020年度予算要望書を練馬区に提出し、実現を強く求めました。

写真左端から、有馬区議、やくし前区議、とや英津子都議、区長、小松区議、坂尻区議、島田区議、のむら区議。

都議会第4回定例会より

12月3日～12月18日閉会

私立高校生の授業料無償化の対象拡大、実現へ



昨年9月の、本会議場における代表質問

代表質問（2019年9月）での要望が実現へと道を拓く

私は、昨年9月の代表質問で都内私立高校生の授業料無償化の拡大（対象世帯の年収760万円未満→940万円未満へ）を求めました。

教育長は、今後の対応を検討するとの答弁でした。

今定例議会でも、日本共産党都議団は代表質問で実施を求めました。その翌日、12月11日のマスコミ報道で、都が私

立高校生に対する独自の授業料軽減制度を拡充して、年収910万円未満にする方針を固めたと報道され、実施が明らかになりました。

来年4月実施予定で、国の助成分と合わせて、都内の私立高校の平均授業料に相当する約46万円が給付され、実質無償化が大きく拡充される見通しです。

区民の声を都政に届ける

ご意見ご要望をお寄せください

とや 英津子

日本共産党都議会議員
ニュースレター

練馬区桜台1の6の11 電話：03-63324-8060 fax：03-3948-0153

●Twitter/Facebookは「とや英津子」で検索下さい。

2020年1月



都議会 文教委員、オリ・パラ対策特別委員会委員など

春休み中

若者の美術館料金引き下げが前進へ

共産党都議団の「料金引下げ条例案」提出が都政を動かしました



記者会見で条例案を説明する、とや英津子都議（左）

2019・11・26

第4回定例議会で都知事は、若者の美術館料金の引き下げを表明しました。もともと共産党都議団は、今定例議会に「若者の美術館料金引き下げ条例（案）」を議員提案していました。

その内容は、都立美術館・博物館の常設展の料金（観覧料）について、高校生は無料、26歳未満は半額とする条例の一部改正をするものです。

若い世代が芸術文化の素晴らしさに触れ、豊かな感性や創造力を育むことは大変意義があります。

この条例提案は、自民党、公明党、都民ファーストの会などの反対で否決されました。が、都知事は、春休み中の常設展や企画展の観覧料を18歳以下まで無料にすると表明し、前進しました。

女性差別撤廃条約の実効性高めよ

文教委員会で請願を採択、自民党は反対

都議会文教委員会は12月2日、女性差別撤廃条約の選択議定書の批准を国に求める請願を、自民党を除く賛成多数で採択しました。

文教委員会で、私は、日本で女性差別がいまだに横行している中で、選択議定書の批准は国際人権保障・男女平等への積極的な取り組みの姿勢を国際社会に示すことであり、女性活躍促進にも資するとして採択を主張しました。

選択議定書は、条約加盟国189の内112か国が批准しています。今や日本は選択議定書を批准しない数少ない国です。女性差別、DV、セクハラ、人権侵害などを無くすため、国に働きかけを強めていきます。



難聴と
補聴器に支援を

きこえのバリアフリー



実現に全力で頑張ります

共産党都議団は、2012年に「提言」発表して以来、一貫して「聞こえ」の問題に取り組んできました。

18年の予算特別委員会で、都は初めて「聞こえのバリアフリー」と公式に答弁。この間の論戦で知事は「今後とも、高齢者の聞こえの支援を推進する」と答えました。

現在ある都の補助制度の改善と練馬区での支援を具体化するため、引き続き全力で頑張ります。